



福祉の就職総合フェア 冬 ～初代カイゴ男子・女子も登場～

岡山県社会福祉 4

特集 生活困窮者自立支援制度が発足して1年を振り返る ～「H27生活困窮者支援ネットワークフォーラム岡山」報告～

p2

p5 赤い羽根共同募金
平成27年度募金実績報告

p6 県社協ニュース
小地域福祉活動推進研究会を開催
見守り活動推進セミナーを開催
平成28年度福祉人材センター社会福祉従事者研修計画
電話・来所相談出張講座のお知らせ
平成28年度岡山県社会福祉協議会人事異動のお知らせ 他

p10 現場からの発信
子どもたちの居場所づくり・食育・学習支援
～一般社団法人 子どもの家運営委員会～

p12 「ふくし」の仕事人たち
SELP商品のご紹介



社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
<http://www.fukushiokayama.or.jp>

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

特集

生活困窮者自立支援制度が発足して1年を振り返る 「H27生活困窮者支援ネットワーク岡山」報告

生活困窮者自立支援法が施行されて1年、全国各地に相談窓口（自立相談支援機関）が設置され、「生活費に困っている」、「今日の食べ物・住居に困っている」、「何年もひきこもりが続いている」、「病気で働くことが出来ない」等の深刻な課題を抱える人・世帯に対する「生活困窮者支援」が展開されています。しかし、その一方で相談窓口の存在が知られておらず、相談件数の伸び悩みや関係機関・団体の連携体制の問題など、地域に潜在化する「本当に困っている方」への支援体制は、未だ十分とは言えません。そこで、今号では制度施行1年を振り返り、本県における生活困窮者支援制度の現状・課題や、「誰をも排除しない、孤立させない地域社会づくり」に向けた今後の展望について、先般開催された「生活困窮者支援ネットワーク岡山」の内容をもとに特集いたします。

生活困窮者自立支援制度の現状

―全国並びに本県における
困窮者支援制度の実施状況―

●実施主体の割合について

生活困窮者自立支援制度の必須事業となる自立相談支援事業の全国的な実施主体の割合（12月時点／全社協集計）は、「行政直営」42・5％、「民間委託」が57・5％となっており、民間委託が多くなっています。なお、民間委託のうちの約8割が「社協委託」です。

全国・県内における「自立相談支援事業」（必須事業）の実施主体の割合

委託・直営	全 国		岡山県	
	箇所数	%	箇所数	%
行政直営	483	42.5	13	68.4
民間委託	653	57.5	6	31.6
計	1,136	100.0	19	100.0

※全国集計：全社協地域福祉部 12月時点
※県内集計：県社協地域福祉部 12月時点

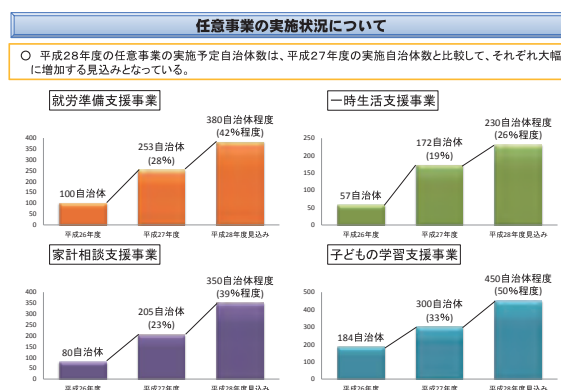
一方、本県内の実施主体は、社会福祉事務所設置の18自治体とその他町村は県が実施主体で、県内19実施主体の割合は、「行政直営」が約7

●任意事業の実施状況

各自自治体の実情・意向により実施される任意事業の全国的な実施状況は、「就労準備支援事業」28％、「一時生活支援事業」19％、「家計相談支援事業」23％、「子どもの学習支援事業」33％（厚労省資料より）となっています。また本県内の任意事業の実施状況は、「就労準備支援」5％（1市）、「一時生活支援」10％（2市）、「家

割（13自治体）、「民間委託」3割（6自治体）と全国傾向とは逆転している状況にあり、「社協委託」は5市社協となっています。

厚労省／H26～28年度任意事業の全国実施状況の推移



●新規相談・プラン作成の支援状況

国の集計（4月～12月）では、全国の自立相談支援機関に寄せられた新規相談件数は、約17万件に及んでおり、国の目安値（人口10万人当たり月20件）に対して、約7割の水準と

全国・県内の新規相談受付、プラン作成件数の状況

区分	①新規相談受付件数		②プラン作成件数	
	件数	人口10万人あたり月件数	件数	人口10万人あたり月件数
全 国	H27 4～12月 総件数 171,643	14.8	H27 4～12月 総件数 40,365	3.5
(月平均)	19,071		4,485	
岡山県	2,344	13.5	554	3.2
(月平均)	260		62	

※【参考】27年度における国の目安値：人口10万人あたり月件数
①新規相談件数：20件/月 ②プラン作成件数：10件/月

なっています。
対象者へのプラン作成件数は、目安値（10万人当り月10件）に比べて低い水準（月3・5件）となっており、相談受付からプラン作成に至るまで合意形成や信頼関係づくり等、支援の難しさが伺えます。
また、本県内の新規相談件数（4月～12月）は、合計2,344件となっており、人口10万人当りの件数では、月14件と全国平均並みで推移しています。
プラン作成件数（4月～12月）は、合計554件で、10万人当りの件数は3・2件と全国平均とほぼ同等値ですが、国の目安値（10万人当り月10件）と比べると、少ない状況です。

「生活困窮者支援ネットワーク岡山」報告 —制度施行から1年、生活困窮者支援の現状課題と今後の展望—

制度施行の現状を踏まえ、本会では、困窮者支援の関係機関・団体との連携のもと、今後の困窮者支援のあり方を考えるフォーラムを開催しました。（H28年2月29日（月）、会場：岡山ロイヤルホテル、参加者207名）
フォーラムでは、全国展開されている24時間電話相談「よりそいホットライン」（社会的包摂サポートセンター）の相談援助の概要や県内外で生活困窮者支援に携わる専門職・活動者の実践報告をもとに生活困窮者支援制度の現状課題や今後を考えるパネル討議が行われました。

▼第1部「よりそいホットライン」 現場からの実情報告

「よりそいホットライン」とは、24時間365日つながる電話相談事業であり、フォーラムでは、事業概要の紹介と岡山コールセンター（運営：NPO法人さんかくナビ）が受け止めた生きづらさを抱える人の声



第1部/よりそいホットライン経過報告

なき声（生活・福祉ニーズ）の報告・共有がなされました。
昨年度1年間で県内の方から寄せられた電話総件数は、約18万件にも及ぶとのことで、複雑多様化する困窮者支援の大変さを実感させられました。
今後は、受け止めた相談者をいかに地域の社会資源（支援制度・サービス等）へつなげていくか、各種専門職・関係団体等との連携・協働体制の強化が課題であるとの報告がなされました。



第2部 特別講演/NPO法人抱樸 奥田氏

特別講演では、困窮者支援の活動で、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」にも出演されたNPO法人抱樸（ほうぼく）理事長 奥田氏よりご講義をいただきました。
奥田氏は、本制度の趣旨について、経済的困窮だけでなく、その背景にある「社会的孤立」への支援の重要性に言及されました。
●「経済的困窮」と「関係的困窮」
困窮には、「経済的困窮」（ハウスレス）と「関係的困窮」（ホームレス）があり、本制度では、これまで

▼第2部 制度施行から1年、支援現場から見えてきた生活困窮者支援事業への期待
▲特別講演▼
「助けてと言える社会を目指して」
—新しい生活困窮者支援制度を活かす—
NPO法人抱樸 理事長 奥田知志氏

の給付中心の支援から「相談援助型」の支援への転換を図ることで、「関係的困窮」（社会的孤立）を含めた支援体系の確立が求められていると強調されました。

今日の生活困窮者の抱える 2つの困窮

経済的困窮（ハウスレス）
社会的孤立（ホームレス）

支援の両輪

・経済的困窮（ハウスレス支援）…**なにが**必要か

・関係的困窮（ホームレス支援）…**だれが**必要か

伴走型支援の必要性

特別講演「助けてと言える社会づくり」
講演資料（抜粋）

●「対個人」と「対社会」の支援

生活困窮者支援とは、「対個人」としての寄り添い型支援と「対社会」としての地域支援（対象者を孤立させない『助けてと言える地域社会づくり』）の両面で展開されるものであり、自立相談支援機関が個別支援（対個人）と地域支援（対社会）のネットワークの「要」になれるかどうか、その力量が問われていると課題提起されました。

さらに、困窮者支援のポイントについて、対象者の抱える生活課題は、

多重多岐に渡る上にその家族も深刻な課題を抱えているケースが多いので、本人と家族を含めた「世帯支援」の視点が大切であること、そして世帯支援を行うための多専門職・異業種による連携体制と任意事業、特に「家計相談支援」等を含めた必要なサービス資源の整備・開発が喫緊の課題であると指摘されました。

▲パネル討議▼

「支援現場から見えてきた課題と生活困窮者支援事業への今後の展望」



第2部 パネル討議

岡山市寄り添いサポートセンター

主任相談支援員 藤原啓祐氏

今年度に入り新規相談件数、延べ相談件数とも、既にH28年1月時点ですべて昨年度1年間の実績を上回る件数

となっており、支援体制の充実・強化が課題との報告がなされました。また、総合相談という「入口機能」だけでなく、対象者が自立していく「出口機能」も備えた自立支援機関となることの必要性と併せ、今後は、**生活困窮者の働く場の確保や地域での居場所づくり**へ向けた展望が述べられました。

（総社市生活困窮者支援センター）
総社市社会福祉協議会

事務局長 佐野裕二氏

総社市社協からは、『**ひきこもり支援は社会全体の課題**』と題して実践報告がなされました。総社市では、生活困窮者支援事業の対象者の半数近くにひきこもり傾向があることを踏まえ、「個」の問題を地域全体の問題として捉え、行政、関係機関・団体、地域住民が一緒になって協議する場として「ひきこもり支援検討委員会」が展開されています。現在は、市内の地区社協ごとに「ひきこもり支援を考える地区懇談会」を開催し、課題の共有化と早期発見・概数把握のためのグループ討議等を行っているとの報告がなされました。

NPO法人
岡山ホームレス支援きずな

理事・社会福祉士 新名雅樹氏

『**くらじげらさへのかかわり／一時生活支援事業ひききの活動から**』と題して、多くの問題提起がなされました。困窮者支援は、生活保護（給付）や就労支援だけでは充足しない。**大切なのは「つながりの形成」（関係性）の支援であること**。また、対象者のニーズには、「待ったなし」（緊急一時支援）のケースが多く迅速対応ができる資源を増やすこと、そして最終的には、偏見や差別のない「この地域で暮らしたい」と思える気持ちの回復に向けた支援と『**助けて」と当たり前と言える地域づくり**』が重要であるとの貴重な提言がなされました。

今後に向けて

「誰をも排除しない、孤立させない地域社会づくり」を目指して

生活困窮者支援制度は始まったばかりで課題は山積しています。本会としては、「誰をも排除しない、孤立させない地域社会づくり」を目指し、今後も県内の困窮者支援の関係機関・団体との連携を深め、県内市町村社協の総合相談・生活支援活動の強化を図っていきたいと考えております。

赤い羽根共同募金



おかげさまで70周年

岡山県共同募金会

平成27年度の「共同募金運動」ならびに「歳末たすけあい運動」につきましては、県民の皆さまより温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

下記のとおり、平成27年度募金実績をご報告いたします。



共同募金運動

県内の社会福祉施設や福祉関係団体、各市町村社会福祉協議会やボランティア団体・NPO等の活動費として有効に活用させていただきます。

● 募金総額 ●

284,578,597円

歳末たすけあい運動

県内の福祉関係団体の活動費や障がい者共同作業所の備品整備費として有効に活用させていただきます。

● 募金総額 ●

募金総額

69,782,358円

地域歳末たすけあい

63,377,133円

NHK歳末たすけあい

6,405,225円



“お車の共済の事なら！”



西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927

岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F

TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25

TEL: 092-441-5901

NJ730. 1603. 0250. 999999

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画・製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

小地域福祉活動推進 研究会(成果報告・全 体会)を開催

3月10日、きらめきプラザにおいて標記研究会の今年度の成果報告会を開催。研究会では小地域福祉活動の活性化に向け、県内社協職員参画のもと、今年度は『小地域福祉活動計画策定のあり方』について研究協議を重ねてきました。

当日は、計画づくりの各プロセスにおけるノウハウの共有をはじめ、小地域福祉活動計画を策定した岡山市操明学区の取り組みや井原市社協の地区ボランティアセンター設立に向けた取り組み、広島県安芸高田市における地域資源と連携した早期発見・生活支援の仕組みなど、各地域の特色ある実践報告もあり、今後の小地域福祉活動の活性化に向け、実りある場となりました。



見守り活動推進セミナー を開催 (県民見協)

2月24日、きらめきプラザにおいて標記セミナーを開催し、県内188名の民生委員が参加しました。

始めに日本福祉大学教授の小松理佐子先生よりご講義いただき、その後、2市より見守り活動の実践報告を行っていただきました。

今回は、「新たな生活課題と見守り活動」をテーマに、近年問題となっている生活困窮者やひきこもり等の支援にもつながる地域の見守り活動の重要性について焦点を当て、講義では実際の県内での見守り活動事例をもとに、うまくいった点、うまくいかなかった点を検証しながら見守り活動のポイントを確認しました。

続く実践報告では、総社市より「ひきこもり支援等検討委員会」の取り組みについて、赤磐市より福祉推進員との連携による見守り活動についてご紹介いただき、実践に基づいた具体的な活動のためのヒントが得られる場となりました。



H28.4.1～

Facebook はじめました

岡山県社協の取り組みやイベント案内等を発信していきますので、是非ご覧ください。



岡山県社協 公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/fukushiokayama/>



社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

新会計基準
移行チェック

- ・財務諸表等の承認や公開は正しくできていますか?
- ・ワンイヤールールを適用した決算書になっていますか?
- ・国庫補助積立金の取崩は正しくできていますか?

記帳代行
サービス

- ・決算をしてみたまったく数字があわなかった
- ・やらないとだめなのはわかっているけど他の業務に追われて後回しに...

思い当たるあなたは今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

(受付時間) 9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに
ご相談
ください!



SCB
社福サポート担当
いしはら

平成28年度 福祉人材センター 社会福祉従事者研修計画

研 修 名	対 象	日 程	実施時期	研 修 名	対 象	日 程	実施時期
生涯研修（新任）	新 任	3	5-6月	リスクマネジメント研修会	新任・中堅 指導管理	3	8-9月
生涯研修（中堅）	中 堅	4	6月	対人援助技術研修会 （基礎コース）（実践コース）	相談員・支援員等	基礎1 実践1	10月
生涯研修（指導）	指 導	3	7-8月	介護技術研修（基礎コース）	介護職新任職員	3	10-11月
生涯研修（管理）	管 理	1	8月	介護技術研修（発展コース）	介護職員 （1～3年）	3	10-12月
新任職員定着支援研修会	新 任	1	2月	介護職員フォローアップセミナー （Aコース）（Bコース）	介護職中堅職員	A1 B2	10-11月
接遇セミナー	新 任	2	4月	介護職員指導技術研修	介護職指導職員	3	10-12月
接遇リーダー研修会	指 導	3	5月	介護支援専門員実務研修受 講試験準備講習会	受験資格の ある者	1	7-9月 （全4回）
コーチング研修会	中堅・指導	1	9月	①介護支援専門員実務 ②更新（未経験者向け） ③再研修	該当者	①14 ②③9	①1-5月 ②③1-3月
メンタルヘルスケア担当者 研修会	中堅・指導・管理	1	12月	認知症介護実践研修（実践 者研修）	介護職員等	6	7-12月
福祉の職場研修向上研修 （担当者養成コース）	中堅・指導・管理	1	11月	認知症対応型サービス事業 開設者研修	該当者	1	8月
会計職員実務研修会	会計担当職員	1	6月	認知症対応型サービス事業 管理者研修	該当者	3	9,11,3月
人事・労務管理研修	担当者・管理者	1	7月	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	該当者	1	10月

※研修名・開催時期等は変更の可能性があります。要綱が確定次第、随時HP（下記URL参照）にも掲載します。

http://fukushiokayama.or.jp/workwelfare/sisethu_syokuin/

お問い合わせ先：福祉人材センター TEL 086-226-3507

- ◎日時**…月2回程度
- ◎内容**…希望の講座、個別相談
- ◎対象**…福祉・介護サービス事業
業所
を実施している法人、事
業所
- ◎予約方法**…所定の用紙をファッ
クスで送信
- ◎費用**…無料

人材定着力向上出張講座

- ◎日時**…毎月第2・4木曜日
午後1時～午後4時
- ◎相談方法**…電話、来所にて
- ※来所の場合は電話予約必須。
- ◎費用**…無料

仕事の悩み何でも相談

岡山県福祉人材センターでは、福祉・介護職に就く職員の働きがいを支えるため、電話・来所による何でも相談、出張講座を開催しています。お気軽にお問い合わせください。詳細はホームページでも確認していただけます。

**電話・来所相談
出張講座のお知らせ**

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください！



**労務管理で
困っている**

- ・ 就業規則の見直し
- ・ 人材育成
- ・ 人材定着
- ・ 助成金の活用
- ・ セミナー講師
- ・ 業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人

☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子

〒706-0024 玉野市御崎2-3-13

あい社会保険労務士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中！

メルマガはHPからお申し込みください。

平成28年度 岡山県社会福祉協議会 人事異動のお知らせ

異 動		4月1日付	
新所属・職名	氏 名	旧所属・職名	
(兼)事務局長事務取扱	平 松 卓 雄	常務理事	
正規職員			
生活支援部	副部長	山 下 泰 三	生活支援部・生活支援班・主幹
地域福祉部・地域振興班	主幹	奥 山 勝 之	地域福祉部・地域振興班・主査
生活支援部・地域生活定着支援センター	主幹	石 井 慎 一	生活支援部・地域生活定着支援センター・主査
総務企画部	主任	西 原 俊 明	地域福祉部・地域振興班・主任
福祉経営支援部・経営支援班	主任	大 石 祥 加	福祉経営支援部・経営支援班・主事
地域福祉部・地域振興班	主任	貝 原 翠	地域福祉部・生活福祉資金班・主事
地域福祉部・生活福祉資金班	主事	武 田 宗 一 郎	総務企画部・主事
地域福祉部・地域振興班	主事	岡 秀 悟	(新規採用)
嘱託職員			
運営適正化委員会	局長	保 坂 邦 夫	(再雇用)
地域福祉部・地域振興班	書記	熊 本 紗 久 羅	(新規採用)
地域福祉部・生活福祉資金班	書記	太 田 成 美	(新規採用)
生活支援部・生活支援班	書記	井 上 沙 織	(新規採用)

退 職		3月31日付
氏 名	旧所属・職名	
保 坂 邦 夫	事務局長 (定年退職)	
樫 村 里 佳	地域福祉部・主事	
吉 田 誠	生活支援部・地域生活定着支援センター・相談員	
大 山 幹 雄	生活支援部・地域生活定着支援センター・相談員 (27.12.31付)	



福祉資料室リニューアルオープン!

室内の配置換えや新刊雑誌コーナーの充実により、ゆったりと読書を楽しめる空間になりました。

今後は、福祉教育や施設内研修等にご利用いただけるDVDを続々入荷予定です。貸出の手続きや新作のご案内は、県社協ホームページに掲載しております。

福祉資料室のご利用を心よりお待ちしております。

【お問い合わせ先】

岡山県社会福祉協議会 総務企画部 (TEL 086-226-2822)
http://www.fukushiokayama.or.jp/



ご寄付ありがとうございます

平成27年9月～平成28年3月までにご寄付をいただいた皆様です。本会事業推進に有効に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

【一般】 福島工業株式会社岡山支店 様
長泉寺 様

【香典返し】 小寺 紀孝 様 (岡山市)
竹内 妥仁 様 (岡山市)
武本 輝雄 様 (津山市)

【ご寄付のお申し込みは…】

岡山県社会福祉協議会 総務企画部 (TEL 086-226-2822)
http://www.fukushiokayama.or.jp/



観光庁長官登録旅行業第55号
(社) 日本旅行業協会正会員ボンド保証会員
岡山市北区幸町8-29 三井生命ビル9階

TEL: 086-225-2771 Fax: 086-225-7494 担当: 中西・西村・深井

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい!

☆日帰りで豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いな?

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな～!

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが・・・

旅行の事ならなんでもご相談ください。 様々なご相談、見積、手配もいたします。



福祉の就職総合フェア 岡山冬を開催

2月14日(日)、岡山ロイヤルホテルにおいて、「福祉の就職総合フェア岡山冬」を開催しました。

このイベントは、福祉業界への就職を希望する方と、福祉の人材を求める事業所等との面談の場を設け、福祉人材の確保を目的とした事業です。

当日は、13法人・事業所による特徴(らしさ)や魅力をアピールするプレゼンテーションをはじめ、95法人・事業所(求人件数398件、求人数1,060人)が参加した職場面談会、ハローワークや職能団体、福祉人材センターによる就職や福祉の資格取得相談、さらには悩み相談等を行いました。

その他にも、介護業界のイメージアップを目的とした、岡山県老人福祉施設協議会主催事業の『カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト』において、グランプリ・準グランプリに選ばれた4名による介護の魅力発信コーナーを設置し、介護が未経験という方にも分かりやすく介護の仕事を紹介していききました。

当日の求職者数は1

97名と昨年度を下回

りましたが、

終了間際までブースを

回り、熱心に採用担当

者との面談を続けられる求職者も見られました。

求職者からは、「明るい雰囲気

で気持ちよく接していただいて、嬉しかった」、「話を聞いて、福祉現場で働きたいと思った」などの感想が寄せられました。

これから、一人でも多くの求職者に参加いただき、求職者・求人事業所双方にとって有益な事業となるよう一層努力してまいります。

なお、次回フェアは、7月23日(土)に岡山ロイヤルホテルにおいて開催いたします。現在出展事業所を募集しておりますので、希望される事業所はお早めにお申し込みください。

【お問い合わせ先】

岡山県福祉人材センター

TEL(086)226-13507



災害福祉支援セミナーを開催 定員を超える参加申込

去る3月9日(水)、ピュアリティ

まきびにおいて、「平成27年度災害福祉支援セミナー」を開催しました。

このセミナーは、本会の各部所職員が連携して協議を進めている災害福祉支援ネットワーク特命チームが企画しました。

参加者は、社会福祉法人・施設関係者が最も多く、市町村社会福祉協議会、市町村行政からも参加いただき、開催1週間前には、定員の100名を超える申込をいただきました。

基調説明では、「被災地とボランティアをつなぐ」を掲げ、県域のネットワークを構築している京都府災害ボランティアセンター職員を講師にお招きし、ネットワークを構成する関係機

関・団体の役割を把握した、効果・効果的な協働、運営のあり方について



分科会①

模造紙を活用したグループ演習

学ぶと

もに、福祉施設に

おけるB

CP(事業継続計画)の取

り組みについて、

インターネットリスク総研から紹介をいただきました。

午後からの分科会①では、被災地で情報発信に携わってきた中央共同募金会の城千聡氏を講師に、災害ボランティアセンターに欠かせない情報発信、広報のあり方についての講

義や演習、分科会②では、福祉の視点を踏まえた避難所運営のあり方について、避難所運営ゲームHUG福祉版の体験を行いました。

今後本会では、県域の福祉関係機関・団体による災害福祉支援ネットワークを通して、市町村の災害ボランティアセンターの後方支援と、災害時要援護者の支援に向けて、協議を進めていきます。

【お問い合わせ先】

岡山県社会福祉協議会

TEL(086)226-12822



分科会②HUGを始める前のオリエンテーション

現場からの発信

子どもたちの居場所づくり・食育・学習支援 一般社団法人 子どもの家運営委員会

厚生労働省の平成25年の調査によると、子どもの貧困率は16・3%で、約6人に1人の子どもが貧困に苦しんでいます。

貧困率とは、世帯収入から国民一人ひとりの所得を試算し順番に並べた時、真ん中の人の所得の半分に届かない人の割合です。子どもの貧困率は18歳未満でこの貧困線を下回る人の割合を指します。

従来の『貧困』という言葉が示すイメージとは異なり、平均的な収入よりも下回っているという「相対的貧困」であるため、外から分かりにくい問題ですが、家庭の経済的困難によって、様々な問題が子どもに生じやすくなります。「例…満足な食事がとれない、衣類がない、ネグレクト（親が長時間働かざるを

得ないことによる）、文化的資源の不足、低学力・低学歴、低い自己評価・不安感・大人への不信任感・周囲からの孤立など」

今月号では、「子どもの貧困」への取組みについて、一般社団法人子どもの家運営委員会 代表理事 小阪田氏にお話をお伺いしました。

「子どもの家」の概要

一般社団法人子どもの家運営委員会では、赤磐市内で子どもの家を運営しています。主に子ども達への居場所の提供、夕食提供を通しての食育、学習支援の3つの活動を行っています。赤磐市民を中心に有志で運営しており、スタッ

フも利用する子ども達も少しずつ増えています。



「ただいま」と言って入ってくる子どもたちを「お帰り」と迎え入れます。

活動の経緯

平成26年に赤磐市で行われた子どもの貧困に関するフォーラムを契機とし、居場所がない子どもや、夕食がない子どもがいることを知った参加者が中心となって、子ども達へカレーや餅の提供を行った事がきっかけです。その後、平成27年の3月に活動拠点を確保し、子どもの家の運営を開始しました。

子どもの家の利用状況

開設時間は平日の15:30～19:00。

利用するのは、中学生と高校生が中心です。平均で1日あたり約5・7名の子ども達が、子どもの家を訪れます。それに対しスタッフは1日平均5・5名。大人と子どもがほぼ1対1の状況です。夕食は、お米や野菜などは寄付されたものを使用し、その他の食材はスタッフから徴収する食費により賄っており、子ども達には配膳や洗物などの手伝いをする事により、食事代はかからない、というルールを設定しています。

学習支援については、従前から50分の学習時間を設定していましたが、平成27年11月頃から中学3年生の進学に向けて、スタッフの中から学習チームを設けて支援を開始しました。学習チームは教員免許や福祉施設勤務の経験がある人を中心に構成しています。

子ども達は、悩みや問題を抱えている子どもも多いため、スタッフが卓球やボードゲームなどの遊びを通して、子ども達との心の距離を縮められるよう関係を構築していきます。それぞれの子どもにどのようにつけていくか、スタッフのミーティングや勉強会で常に共有・検討を行っています。

子どもの家に来ている時、子ども達の表情は非常に穏やかで、学校や家庭では大変な状況にある子どもでも、ここでは安心感を持って過ごせる場所になっています。学習面でも、上級生が勉強する姿を見て、下級生も進んで勉強をするようになるなど、お互いに良い影響を与えあうようになっていきます。ただし、子ども達が勉強につまづいている内容を見ると、小学校高学年から学校の勉強に付いて行けなくなつた状況が見られます。現

子どもの家の成果・今後の活動について



「こどもの家」学習室の様子

在は、中高生の利用が中心ですが、今後は小学生にも利用促進をはかり、早い段階から学習支援をしていくことが必要だと感じています。子どもへの支援は施しではなく、未来への投資と考えます。「子どもがかわいそうだから」という観点のみではなく、家庭の貧困により十分な学習機会を得られず将来の貧困につながる、という連鎖を断ち切り、どの子にも等しく機会を与えることが大切と考えます。



お話を伺った代表理事の小阪田 徹氏

【お問い合わせ先】

一般社団法人
子どもの家運営委員会
TEL 086-954-4844

平成28年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために！

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、財産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

保険期間1年

年額保険料(掛金)		定員	基本補償(A型)
基本補償(A型)	保険料	1~50名	35,000~61,460円
		51~100名	68,270~97,000円
		以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)			
		基本補償(A型) +	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

◆28年度新設 使用者賠償責任補償(プラン3-①オプション) 社会福祉法人役員の賠償責任補償(プラン4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「財産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL: 03(3593)6824
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈SJNK15-17043 2016.02.18作成〉



(福)倉敷市社会福祉協議会

水野 孝昭 さん

①「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

私が中学校2年生の時に祖母が脳梗塞で倒れ、住宅改修や福祉車両の購入の際に様々な福祉職の方と関わったことがきっかけです。

また、ちょうど中学校の総合学習のテーマが「福祉」で、クラスメイトを自宅に呼んで祖母とコミュニケーションを図ったり、父が手作りした車いすの昇降機を見学してもらったりし、どんどん福祉の世界に入り込んでいきました。

②主にどんな仕事をしていますか？

主な担当は、ねたきり認知症家族の会、障がい児を囲む親子ふれ

あい事業、介護者リフレッシュ事業などの当事者支援活動をはじめ、高齢者等心配ごと相談所、歳末たすけあい運動、ふれあいサロンやたすけあいサービスなど様々な事業を担当しています。

また窓口で市民の方と接する機会も多いので、学ぶことも多く、とてもやりがいを感じています。

③尊敬している人は？

同じ職場の先輩方です。毎日劣等感を感じながら、精いっぱい背中を追っています。その他にも、自分の考えをしっかり持っていて、それを言葉にできる人は凄いなあと思います。

④1週間休みが取れたら、何をしますか？

大学が九州でしたので、久しぶりに九州の温泉地巡りをしたいです。黒川温泉や別府温泉等、有名な温泉地は他にもありますが、私のお奨めは熊本県の『平山温泉！』源泉かけ流しで、トロトロの湯船には湯の花も咲いており、一時期は入り浸っていました。あとは『九州ラーメンの食べ歩き』『博多系のラーメンは岡山でも食べることができるので、『熊本ラーメンの食べ歩き』を楽しみたいですね。

⑤仕事でのこだわりや気をつけていることは？

仕事をするにあたっては、あまり常識にとらわれないように心掛けています。人も地域も「十人十色！」全て受け入れて次の一手を考えるのがソーシャルワーカーだと思っています。

⑥今後、トライしてみたいことは？

「核家族化が進行し、高齢者の独居世帯が増加する」、福祉に携わる方であれば一度は聞いたことがある言葉だと思います。私は十代の頃からこの核家族化の進行をなんとか防止できないかと考えています。高齢者の独居世帯へ対する取り組みは、いろいろな機関、地域で実施されていますが、その原因となった核家族化の進行に対する対策は未だ不十分と感じています。「家族の絆を取り戻す！」いづれトライしてみたい私の夢です。



たすけあいサービスの研修会で説明中

SELP商品のご紹介

社会福祉法人 秋桜会
就労継続支援B型事業所 コスモスワーク

コスモスワークのスノーボールは、利用者の方が一つ一つ丁寧に手作りしています。口に入れた時のサクサクと、とろけるような食感とまあるい形が特徴です。色や形もかわいいうスノーボールは、コスモスワークの人気商品で、お客様に「おいしかったよ」と声を掛けて頂くことも多く、利用者の方の励みになっています。

スノーボールの種類はプレーン、ココア、キャラメル、ラズベリー、黒豆きなこ、ストロベリー、抹茶の7種です。



- 商品名 スノーボール
- 価格 200円(税込)
- 内容量 80g
- 賞味期限 スノーボール全種類 製造から6週間(抹茶味のみ4週間)
- 原材料 小麦粉、バター、砂糖、アーモンドパウダー、植物性油脂、コーンスターチ(一部に乳・小麦を含む)

【お問い合わせ先】

社会福祉法人 秋桜会 コスモスワーク

〒716-1401

岡山県真庭市五名10番地1

TEL (0866) 5219390

編集後記

春は出会いと別れの季節。皆さんの職場でも色んな出会いや別れがあったのではないのでしょうか。環境が変わると慣れるのに時間がかかる事もあると思いますが、変化を楽しみながら気持ちも新たに新年度も頑張りましょう。